

2019 シーズンを持ちまして、

栗原翔吾選手が退団する事となりましたのでお知らせいたします。



DF #3

選手のコメント

この度境トリニタスを退団することになりました栗原です。

昨シーズンは勝てない時期がありましたが、サポーターの皆様の応援により残留という結果をもたらすことができました。境町のサッカー場でのホームゲームでいただいた声援は都道府県社会人サッカーリーグでは到底体感できなく、とても貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。一方で、そのような皆様からの後押しをいただきながら、選手としてはただ衰えゆく身体に全力を込めてプレーするのみ、残念ながら勝利に貢献できる結果が残せず悔しく思います。

入団前、「境町」は高校サッカー時代のライバル高校がある町としか認識をしていませんでした。しかし、週数回境町にサッカーのため通い、少し愛着が沸くようになりました。昨年の勝てなくチームとして苦しい時期に、「どうにかならないものか?」と思いき、「境町の地域のサポーターの皆様が足を運んでいただいているのに、自分自身は境町のことを何も知らない」と気づきました。そこから、インターネット上にある「茨城県境町」という記述がある論文を片っ端から読みこみ、練習後に歴史民俗資料館で開催されている河岸の会にお邪魔をさせていただき、古くからの交通の要所である境町の歴史を知ることができました。さらに参加した町のお祭りでのパレードでは実際に、出会う町の人たち気質や、古い街並みを歩くことで、昔のこの道の往来に思いをはせることで、境町というものを少し体験することができました。

話は変わりますが、現在日本の都道府県サッカー協会に登録している社会人サッカー選手の数は減少傾向にあります。私たちのような社会人サッカー選手の多くは、仕事、家庭などを理由にサッカーをすることが困難になることがあります。日本サッカーがより発展するためには、誰でも一生懸命にサッカーを楽しめる場の増加とともに、都道府県社会人リーグのサッカー人口の増加が必要です。どんな形でもサッカーを続けたいという選手に、境トリニタスというクラブが活躍の場を提供することができるように、日本サッカーの発展という側面でも、引き続き地域のみなさまのご理解とご協力が必要と思います。

2年間という短い期間で退団することになりましたが、ご声援いただいた、サポーターの皆さま、チーム関係者の方々、本当にありがとうございました。引き続き、境町の地域活性化のため、日本サッカーの発展のために、境トリニタスへの応援をどうぞよろしく願いいたします！